



## 2022年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年12月13日

上場会社名 株式会社オーエムツーネットワーク

上場取引所 東

コード番号 7614

URL <http://www.om2.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大越 勤

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 澄川 新一

TEL 03 (5405) 9541

四半期報告書提出予定日 2021年12月14日

配当支払開始予定日

—

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年1月期第3四半期の連結業績（2021年2月1日～2021年10月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第3四半期	21,431	△0.3	660	△20.1	807	△23.5	689	25.5
2021年1月期第3四半期	21,491	△1.8	826	26.2	1,055	34.7	549	8.0

(注) 包括利益 2022年1月期第3四半期 724百万円 (29.0%) 2021年1月期第3四半期 561百万円 (19.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年1月期第3四半期	102.47	—
2021年1月期第3四半期	81.56	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年1月期第3四半期	18,161	14,378	79.2	2,136.39
2021年1月期	17,793	13,815	77.6	2,052.76

(参考) 自己資本 2022年1月期第3四半期 14,378百万円 2021年1月期 13,815百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年1月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2022年1月期	—	0.00	—		
2022年1月期（予想）				24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2022年1月期の連結業績予想（2021年2月1日～2022年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,800	4.1	1,170	△14.5	1,350	△18.2	650	△5.7	96.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年1月期3Q	7,335,634株	2021年1月期	7,335,634株
② 期末自己株式数	2022年1月期3Q	605,419株	2021年1月期	605,419株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年1月期3Q	6,730,215株	2021年1月期3Q	6,735,541株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界各国での新型コロナウイルスワクチン接種の進展による活動制限緩和の影響から、企業の設備投資や生産活動、輸出等持ち直しの傾向がみられており、今後の更なる回復が期待されるものの、いまだ完全な収束時期を見通すまでには至っておらず、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループ中核事業の属する食品小売業界におきましては、取り扱う商品が国民の毎日の生活にとって欠かせない必需品であることから、大部分の店舗での営業は継続されたものの、商業施設等の一部店舗の休業や営業時間の短縮など負の影響も発生し、依然として続く労働力不足や人件費の上昇、物流費の増加等に加え、更に不透明な状況が続いております。

このような中で当社グループは、昨年来より政府や自治体による新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に関わる様々な要請に応えるとともに、従業員の健康と安全管理の徹底を最優先したうえで、雇用を維持しお客様のニーズに応えるべく様々な施策の実行を継続しております。食肉等の小売業においては、対策本部において意思決定や情報共有を円滑に図るとともに、地域の方の毎日の生活を支えるという使命のもと、お客様に安全に安心して食品をお買い物いただくことができるよう日々の店舗運営維持に努めてまいりました。

外食業にあっては、期間中で三度にわたる緊急事態宣言と、まん延防止等重点措置により、首都圏や他の大都市圏における多くの店舗が休業や時短営業を余儀なくされる事態となりました。コロナ禍の自粛ムードも含め、今後も当事業を取り巻く環境は、厳しい状態が続くものと想定していますが、最優先すべきはお客様と従業員の安全との前提のもと、ソーシャルディスタンスの確保や消毒の徹底等店舗における感染予防策を徹底した上で営業を継続していく方針です。なお、上記休業や時短営業に伴う助成金や協力金の収入は補助金収入、損失は店舗休止等損失として計上しております。

以上により、当第3四半期連結累計期間の売上高214億31百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は6億60百万円（同20.1%減）、経常利益は8億7百万円（同23.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は補助金収入7億10百万円、店舗休止等損失3億63百万円を計上し、6億89百万円（同25.5%増）となりました。

## 「食肉等の小売業」

当第3四半期連結累計期間の開店は5店、閉店は8店であり、(株)マルチョウ神戸屋の12店を加えた結果、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は150店になりました。内訳は食肉小売店138店（前期末比10店増加）、惣菜小売店12店（同1店減少）であります。当セグメントを取り巻く環境は上記記載の通りで、新型コロナウイルス感染症対策での外出自粛等により家庭需要はあるものの、前年同期では緊急事態宣言の期間も異なり、売上高は180億46百万円（前年同期比2.1%増）、営業利益は11億30百万円（同16.5%減）となりました。尚、本事業を管轄する子会社(株)オーエムツーミートの当第3四半期連結累計期間は2021年2月1日～2021年10月31日となっております。また、第1四半期連結会計期間より連結の範囲に含めた(株)マルチョウ神戸屋は、第2四半期連結会計期間から損益計算書を連結しており、当第3四半期連結累計期間においては2021年2月1日～2021年7月31日の損益計算書を連結しております。

## 「外食業」

当第3四半期連結累計期間の開閉店はなく、当第3四半期連結会計期間末の店舗数は41店になりました。当セグメントを取り巻く環境は、上述の通り、新型コロナウイルス問題の影響を強く受けたこと等から、売上高は34億40百万円（前年同期比12.0%減）、営業損失は2億89百万円（前年同期は営業損失は2億86百万円）となりました。尚、本事業を管轄する子会社2社の当第3四半期連結累計期間は以下となっております。

(株)オーエムツーダイニング(ステーキレストラン事業) 2020年12月1日～2021年8月31日

(株)焼肉の牛太(焼肉・しゃぶしゃぶ事業) 2021年1月1日～2021年9月30日

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の主要勘定の金額及びその前連結会計年度末比は以下の通りであり、大きな変動はありません。

流動資産	120億4百万円（前期末比△0.8%）
固定資産	61億57百万円（同+8.1%）
総資産	181億61百万円（同+2.1%）
流動負債	30億72百万円（同△11.2%）
固定負債	7億10百万円（同+37.5%）
純資産	143億78百万円（同+4.1%）
負債・純資産合計	181億61百万円（同+2.1%）

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月12日の決算短信で公表致しました2022年1月期連結業績予想の数値は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大がもたらす連結業績に与える影響が小売事業と外食事業に相反する影響を与えていることなどから、現時点において合理的に算定することが困難であるため変更しておりません。今後、合理的な算定が可能となり、開示が必要であると判断された時点で、速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,073,271	8,694,005
受取手形及び売掛金	298,228	345,710
テナント未収入金	1,683,752	1,555,889
商品及び製品	481,650	592,526
原材料及び貯蔵品	33,543	33,142
未収入金	253,159	564,195
その他	275,755	220,097
貸倒引当金	△645	△894
流動資産合計	12,098,716	12,004,673
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,514,198	3,910,605
減価償却累計額	△1,961,071	△2,328,295
建物及び構築物(純額)	1,553,127	1,582,309
機械装置及び運搬具	426,050	540,859
減価償却累計額	△291,462	△382,726
機械装置及び運搬具(純額)	134,587	158,132
土地	527,407	582,212
その他	1,936,100	2,103,021
減価償却累計額	△1,525,136	△1,705,748
その他(純額)	410,963	397,273
減損損失累計額	△688,124	△676,074
有形固定資産合計	1,937,961	2,043,854
無形固定資産		
のれん	—	276,491
その他	106,970	99,361
無形固定資産合計	106,970	375,852
投資その他の資産		
投資有価証券	2,268,251	2,406,237
長期貸付金	45,647	39,088
退職給付に係る資産	118,358	137,227
繰延税金資産	211,981	132,197
敷金及び保証金	978,029	995,213
その他	40,579	40,001
貸倒引当金	△12,532	△12,532
投資その他の資産合計	3,650,316	3,737,434
固定資産合計	5,695,249	6,157,141
資産合計	17,793,965	18,161,814

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,590,134	1,749,578
1年内返済予定の長期借入金	30,380	100,804
未払金	537,472	399,523
未払法人税等	581,436	61,039
賞与引当金	68,867	190,306
その他	653,062	571,250
流動負債合計	3,461,353	3,072,502
固定負債		
長期借入金	69,620	233,348
退職給付に係る負債	35,799	48,844
役員退職慰労引当金	68,435	71,197
資産除去債務	253,818	259,070
その他	89,415	98,505
固定負債合計	517,089	710,965
負債合計	3,978,442	3,783,468
純資産の部		
株主資本		
資本金	466,700	466,700
資本剰余金	1,391,999	1,391,999
利益剰余金	12,407,307	12,935,429
自己株式	△597,619	△597,619
株主資本合計	13,668,387	14,196,508
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	137,284	152,612
退職給付に係る調整累計額	9,851	29,224
その他の包括利益累計額合計	147,135	181,837
純資産合計	13,815,523	14,378,346
負債純資産合計	17,793,965	18,161,814

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)
売上高	21,491,074	21,431,409
売上原価	13,208,453	13,516,976
売上総利益	8,282,620	7,914,433
販売費及び一般管理費	7,455,894	7,253,562
営業利益	826,726	660,871
営業外収益		
受取利息	647	576
受取配当金	1,606	1,958
持分法による投資利益	168,327	89,372
家賃収入	3,087	3,232
協賛金収入	34,348	28,856
受取手数料	688	688
その他	21,289	23,761
営業外収益合計	229,995	148,446
営業外費用		
支払利息	140	311
不動産賃貸原価	242	172
その他	383	1,026
営業外費用合計	765	1,510
経常利益	1,055,955	807,806
特別利益		
受取補償金	3,220	1,381
補助金収入	68,306	710,161
店舗売却益	10,000	—
特別利益合計	81,526	711,543
特別損失		
有形固定資産売却損	—	69
有形固定資産除却損	7,284	1,754
減損損失	45,670	19,939
店舗閉鎖損失	42,484	845
店舗休止等損失	216,653	363,823
その他	—	1,100
特別損失合計	312,092	387,532
税金等調整前四半期純利益	825,388	1,131,817
法人税、住民税及び事業税	529,120	335,279
法人税等調整額	△253,096	106,891
法人税等合計	276,024	442,170
四半期純利益	549,364	689,646
親会社株主に帰属する四半期純利益	549,364	689,646



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年10月31日)
四半期純利益	549,364	689,646
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,481	21,171
退職給付に係る調整額	△1,575	△843
持分法適用会社に対する持分相当額	9,203	14,374
その他の包括利益合計	12,108	34,701
四半期包括利益	561,473	724,348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	561,473	724,348

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自2020年2月1日 至2020年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,621,537	3,869,536	21,491,074	—	21,491,074
セグメント間の内部売上高又は 振替高	55,764	39,773	95,537	△95,537	—
計	17,677,301	3,909,310	21,586,611	△95,537	21,491,074
セグメント利益又は損失(△)	1,352,755	△286,625	1,066,130	△239,404	826,726

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△239,404千円は、セグメント間取引消去△51,714千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△187,690千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」において、損益及びキャッシュ・フローが断続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備の一部資産について、減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において「食肉等の小売業」25,235千円、「外食業」20,435千円です。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2021年2月1日 至2021年10月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食肉等の 小売業	外食業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,042,118	3,389,291	21,431,409	—	21,431,409
セグメント間の内部売上高又は 振替高	4,050	50,724	54,774	△54,774	—
計	18,046,168	3,440,016	21,486,184	△54,774	21,431,409
セグメント利益又は損失(△)	1,130,208	△289,930	840,277	△179,406	660,871

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△179,406千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない人件費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「食肉等の小売業」及び「外食業」において、損益及びキャッシュ・フローが断続的にマイナスとなっている店舗及び閉鎖を決定した店舗の店舗設備の一部資産について、減損損失を認識しました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において「食肉等の小売業」9,099千円、「外食業」10,839千円です。